



学校農業クラブって何？

農業系学科に在籍する生徒は、高校入学と共に学校農業クラブ員になります。県内では本校のほかに、能代西・金足農業・西目・大曲農業・増田高校にもこの組織があります。部活動のように活動を行うわけではなく、生徒会のようにイベントを企画したりその運営を行ったりしているほか、全国各地の農業クラブ員と日頃の活動の成果を競い合う大会（＝各種競技大会）に出場しています。

秋田北鷹高校農業クラブでは、さなぶり大会の企画・運営や秋田県・J A ・京浜急行電鉄グループなどと連携した「あきたe c o らいす」の生産・販売就業体験活動、もちつきなど、地域や各種企業と連携しながら特色ある活動を行っています。（＾＾）v

農ク全国大会(首都圏大会)で快挙達成

9月13日と10月23日～24日にかけて開催された今年の農業クラブ全国大会。本校からは、農業情報処理競技と農業鑑定競技、平板測量競技に計8名のクラブ員が出場

し、2名と1チームが「**優秀賞**」を獲得しました＼（＾０＾）／

本校農業クラブで初の全国大会入賞者です。

農業情報処理競技 **金田恵実** さん（生物資源科3年 合川中出身）

農業鑑定競技（農業コース） **北林夏子** さん（生物資源科3年 鷹巣中出身）

平板測量競技 **佐藤壮馬** さん（緑地環境科3年 阿仁中出身）

庄司直樹 さん（緑地環境科3年 阿仁中出身）

津谷 岬 さん（緑地環境科3年 鷹巣中出身）

阿部信太郎 さん（緑地環境科2年 大館東中出身）

写真は、全国大会の様子です。農業鑑定と平板測量は、競技中の撮影が禁止となっているため、会場での集合写真のみの掲載となります。ご了承下さい。

<農業情報処理競技> およそ100名が、情報処理、文書作成、知識・理解について競い合いました。



＜農業鑑定競技＞ 1000人を超えるクラブ員が、各コース別に実物鑑定を行いました。優秀賞をもらった北林さんが出場した農業コースには、150名を超えるエントリーがありました。



＜平板測量競技＞ 全国から50チーム（1チーム4人編成）が出場しました。



「あきたecoらいす」の収穫を行いました

秋田県・JA全農あきた・京浜急行電鉄グループとともに、北秋田市三木田集落内の水田に栽培してきた「あきたecoらいす」の収穫作業を行ってきました。

「あきたecoらいす」とは、農薬の使用量を従来の半分以下に抑えて栽培した秋田米のことです。私達は、「あきたこまち」を作付けしました。当日は天気も良く、秋晴れの下で稲刈りを行いました。



稲刈り終了後、11月に行われる販売就業体験に向けた車内放送の練習会を行いました。なんと!!! 就業体験では、実際に走行している京浜急行の車輌で「京急沿線あきたフェア」のPRをさせていただけることになったのです（・◇・）

「♪毎度 ご乗車ありがとうございます。」というアナウンスとともに車内アナウンスに挑戦するんです（^ー^）



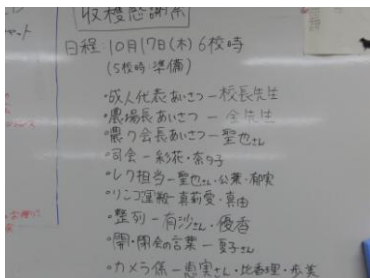
就業体験に参加する6名のクラブ員は、緊張しながらも一生懸命に取り組んでくれました。その様子は、「農業クラブ通信」12月号でお知らせします。

執行部の活動紹介

農業クラブ執行部には、現在約20名のスタッフがいます。

会長1名・副会長2名と執行部員17名という内訳です。

毎週月曜日の放課後、農業クラブ室に集まって新しい企画を考案したり、行事や集会の準備・役割分担などを行っています。そこで活躍するのが・・・ジャ～ん。



この「ホワイトボード」です。一件落書きにも見えますが、クラブ員が話し合いの内容などを記録するために用います (*^__^*) /

行事やイベントは、こうやって生まれるのです (^・ω・^)